

## 第157回 教育研究評議会要録

日時 平成30年1月24日（水）午後1時00分～午後2時10分  
場所 第一会議室  
出席者 今岡学長，藤原理事，井深理事，成瀬副学長，三成副学長，吉村副学長，  
野村文学部長，林井理学部長，黒子生活環境学部長，高田人間文化研究科長，  
内田，中山，小林，春本，久保，松岡，棚瀬，三木各評議員  
欠席者 角田理事，小路田理事  
列席者 酒居監事，福田監事，岩阪事務局次長／総務・企画課長，太田情報管理活用監，  
桑原国際課長，乾研究協力課長，西田財務課長，西施設企画課長，木下学務課長，  
中窪学生生活課長，矢野学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録確認。

### I 審議事項

#### 1. 学内諸規程等の制定等について

##### (1) 奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所の設置に伴う諸規程の制定等について

審議に先立ち，学長から前回の部局長会議で検討事項となっていた研究所名称について，中期目標・中期計画との整合性も踏まえ，当初案のとおり「大和・紀伊半島学研究所」と決定したとの説明の後，井深理事から，資料1-1から1-5により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

#### 2. 第3期中期計画の変更について

井深理事から，資料2により説明があり，審議の結果，原案のとおり承認し，役員会へ付議することとした。

#### 3. 短期プログラムに関する協定の締結について

吉村副学長から，資料3により説明があり，審議の結果，これを承認した。

#### 4. 経営協議会委員について

学長から，12月8日に逝去された山口委員の後任委員を学長が任命するにあたり，教育研究評議会の意見を聴きたいとの提案があった。山口委員が現職の産業界関係者であり，また本学附属学校卒業生であったという経歴であったため，その役割を持ち合わせる人材を後任に選考したいとの説明の後，候補者の氏名及び経歴の説明があった。なお，現時点では本人の内諾を得ているが，所属組織内での最終調整を行っている段階であるとの説明があった。審議の結果，所属組織も含めて正式な受諾を得た際には，同人を経営協議会委員候補とすることを承認

した。

## 5. その他

特になし

## II 報告事項

### 1. 後任理事及び副学長候補者について

学長から、1月17日開催の部局長会議で報告のとおり、角田理事が健康問題を理由に1月31日付けで退任することとなったため、学長が任命する後任の理事候補者として、次のとおり選任した旨の報告があり、併せて、附属学校部長の選任に関する特例を定める規程により、附属学校部長を兼務させることとした旨の報告があった。

- ・理事（教育・学生担当）・副学長 附属学校部長を兼務  
小川 英巳〔現 研究院教授〕

なお、理事の任期に関する規程により、任期は前任者の残任期間である平成31年3月31日までの1年2か月であること、また、理事及び副学長の代行順位は後日改めて検討することであった。さらに、小川教授が現在務める環境安全管理センター長の任期については、当初の任期どおり平成30年3月31日まで同センター内で務める部門長等も含め、兼務をさせるとの説明があった。

### 2. 地域の高等教育機関の連携について

学長から、昨今の国立大学や国立大学附属学校を取り巻く大きな動きに関し、この半年以上をかけて近隣の学校、奈良県、文部科学省と意見交換を重ねてきた結果、奈良教育大学、奈良工業高等専門学校及び本学の3校で連携し、これから何ができるかの検討に入ることとなったとの報告があった。

棚瀬評議員から、奈良先端科学技術大学院大学との連携について質問があり、学長から、現時点では学部教育が論点であるため、大学院教育への取り組みに拡大する場合は奈良先端科学技術大学院大学とも協力することを含めて検討するつもりがあるとの説明があった。続いて、奈良県立大学や奈良県立医科大学との連携について質問があり、学長から、県立と国立には役割の違いがあるため、現時点では国立を視野にいれているが、将来的には包括的に捉えていきたいとの説明があった。

三成副学長から、地方のつながりとして県内の国立学校で連携、女子大学であるつながりとしてお茶の水女子大学との連携、関西の総合大学との連携など、多様な連携も模索しながらの奈良県内での連携であるかとの質問があり、学長から、現時点では国立大学としてどうしていくのか、地方を盛り上げるためにどうしていくのか、制度上どうしていくのかを検討したいとの説明があった。

また、野村文学部長からは、附属学校のあり方について不安があるとの意見があった。

全体を通して学長から、国立大学の使命を考え直す大変大きな時流が到来しており、建設的な意見と協力をお願いしたいとの発言があり、加えて本件については1月の各学部教授会で学長自らが直接説明を行うとの報告があった。

### 3. 第208回役員会について

学長から、12月22日に開催された第208回役員会の審議概要について、資料4により報告があった。

### 4. 平成30年度における国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果について

井深理事から、1月17日に提示された評価結果（原案）について、資料5-1から5-3により報告があり、最終版の評価結果ではないこと、評点の見直しが実施されたこと、この評価結果が確定後、運営費交付金の額が決定されることについて説明があった。評価内容については、評価目標値に対する進捗管理をより一層行えるよう、確定後に分析したいとのことだった。

### 5. 平成30年度学内予算編成方針について

学長から、12月の役員会で承認された編成方針について、資料6により内容等の説明があった。特に大学を取り巻く環境に戦略的に対応するため、学長裁量経費に「大学マネジメント推進経費」を新設したとの説明があった。

### 6. Group Sessionの運用について

藤原理事から、資料7により報告があり、円滑な移行への協力依頼があった。

### 7. 各室等からの報告について

男女共同参画推進機構：

藤原理事から、配付資料により1月29日（月）15時から、男女共同参画推進のための講演会と兼ねて、社会連携センターの地域貢献事業－「知る・学ぶ・伝える equality」事業として、障害学生支援室の協力のもと講演会を開催予定との案内があった。

学長調査戦略室：

井深理事から、配付資料により2月19日（月）13時30分から、IR研修会を開催予定との案内があった。

評価企画室：

春本副室長から、3月15日（木）14時から、内部質保証に関する研修会を開催予定との案内があった。

### 8. その他

特になし

以上